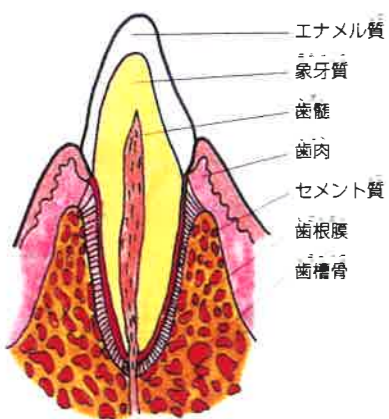


歯周病とその治療法

●歯周組織●



【歯周病ってどんな病気】

歯の周りには、歯を支える色々な組織（歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨）があります。

歯周病は、これらの組織が歯周病菌に感染して起こります。歯ぐきの腫れや出血から始まり、放っておくとやがて歯がぐらついて抜けてしまうこともあります。

わが国では、中高年の8割以上が歯周病にかかっているとされています。

【歯周病の原因】

歯周病を起こすもっとも大きな原因は、歯周ポケット（歯と歯ぐきの間の溝）に溜まった歯垢（プラーク）や細菌のかたまりです。それらの中の歯周病菌が歯ぐきにダメージを与え、少しずつ歯を支える組織を破壊していきます。

また、歯の周りだけでなく全身的な要因、病気も間接的な原因となります。たとえば糖尿病患者には重度の歯周病患者が多く、糖尿病が悪化すると、歯周病も悪化するという関係が見られます。

【歯周病を進行させる生活習慣病】

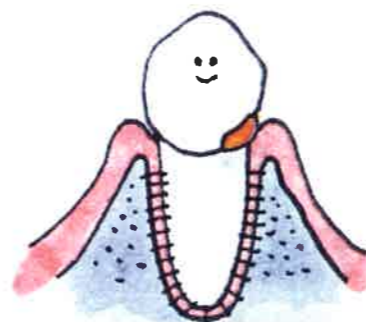
歯周病の直接の原因は歯周病菌ですが、食習慣、運動習慣、ストレス、喫煙、飲酒などの悪い生活習慣にも注意が必要です。

健康状態が悪く、抵抗力（免疫力）が落ちていると、歯周病菌が暴れやすくなり、歯周病の進行が早まるのです。



歯周病の進行度と治療法

歯周病軽度（初期）



初期の症状

歯周ポケットが約3mm以内で、歯周ポケットの溝の中に歯垢や歯石がたまりやすくなります。歯ぐきから出血したり、膿が出ることがあります。

初期の治療法

歯周ポケットの歯垢や、硬い歯石を専用の器具を使ってきれいに除去し、毎日規則正しく丁寧にブラッシングやマッサージを行います。

中期の症状

歯周ポケットが約4mm以上～6mm未満で炎症が奥まで進み、歯ぐきがプヨプヨした状態になり、血や膿が出て、口臭もひどくなります。また、歯を支えている骨が破壊されて、歯がぐらついてきます。

歯周病中程度（中期）



後期の症状

歯周ポケット約6mm以上で歯周病の末期症状になります。歯槽骨がほとんどなくなり、歯根が露出しています。食べ物を噛むことが難しく、歯が抜けることもあります。歯の保存は難しくなります。

中期・後期の治療法

初期の治療法に加え、歯周ポケットの深い所に直接ペリオフィール（抗菌剤）を入れ、歯周病菌をコントロールします。また、フラップ手術を行い、症状を軽減できる場合もあります。

歯周病重度（後期）



ペリオフィール（抗菌剤）

この歯科用軟膏は、有効成分「ミノサイクリン塩酸塩」を含んだマイクロカプセル形状になっています。このカプセルが少しずつ溶け出し、主な歯周病原性菌に対する抗菌作用が約1週間持続します。

※ 当歯科医院では、レーザー治療も併用しています。その効果として、殺菌・消炎・細胞の活性化がみられます。

こんな症状は要注意！



歯を磨くときやリンゴを食べたとき、歯ぐきから出血することがある。



口臭があり、親しい人から口が臭いと言われたことがある。



歯ぐきが赤くはれたり、痛むことがある。



歯ぐきがむずがゆい感じがする。



歯ぐきからウミが出ることもある。



朝起きたとき、口が粘ついたり、妙な味がする。



歯がグラグラと動く感じがする。



鏡で見ると、前よりも歯が長くなったように感じる。

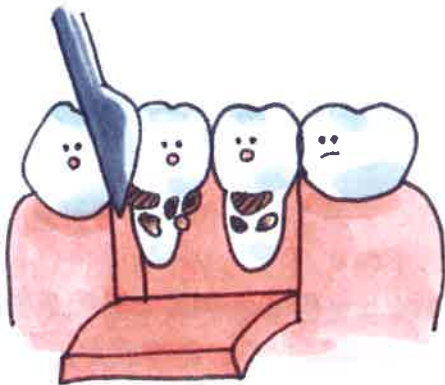
最新の歯周治療～再生療法～

再生療法とは??

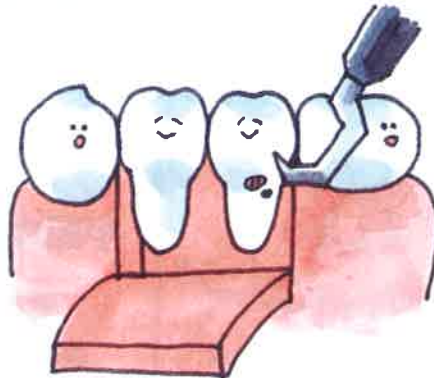
失った歯槽骨を再生する、今話題の治療法です。
ただし、万能とはいいがたく、治療には限界があります。

★フラップ手術(エムドゲイン併用の場合)

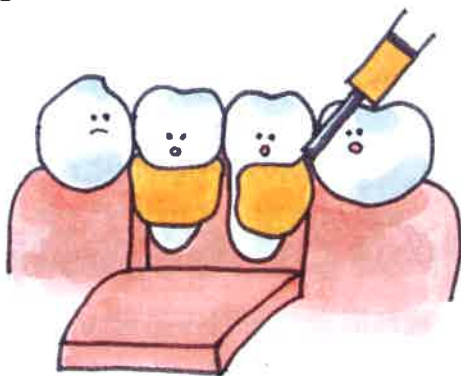
① 麻酔をして歯ぐきを切開する



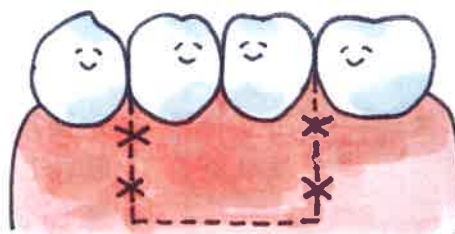
② 歯石などの汚れを徹底的に取り除く



③ エムドゲインを塗布する



④ 歯ぐきを縫い合わせる



エムドゲインとは??

エムドゲインは、タンパク質の一種で歯を支える歯槽骨を再生する働きがあり、歯周ポケットが深い部分に用いられます。

歯ぐきを切開して、歯周病菌に感染している部分を綺麗にし、エムドゲインを塗布したのち、縫い合わせます。個人差はありますが、およそ数ヶ月から2年で歯槽骨が再生されます。



術前



術後

歯周ポケットの改善!
セメント質の再生!
歯槽骨の再生!
歯根膜の再生!